

## 産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 鴨方 高等学校
実践場面	総合学科における環境に配慮した企業での探究的な活動
実践日時（時期）	令和5年8月24日（木）
対象生徒（学年）	総合学科（普通総合系列）1年生 44名
連携の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 包括連携協定（（一社）岡山経済同友会） <input type="checkbox"/> その他（ ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input checked="" type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他

### 実践の内容

#### 【現状】

- ・令和5年度から1年生の「総合的な探究の時間」を中心に、環境活動への取組に特化した企業や団体等について調査・研究を行っている。
- ・よりよい世界を目指す「持続可能な開発目標」の実現に向け、「自身がどのような形で社会に貢献できるか」という主題を探究活動の柱の一つとしている。
- ・企業や団体等の理念や取組を真に理解するためには、実際に現地へ赴き、担当者の話を聞いたり体験をしたりすることが最も有効な手段である。



#### 【実践内容】

- ・令和2年度に発行された「おかやまSDGsマップ」から環境活動への取組に特化した企業を探したところ、「双葉電機株式会社」に興味・関心を持った。
- ・「おかやまSDGsマップ」の発行元である一般社団法人岡山経済同友会を通じて計画を進め、双葉電機株式会社と訪問日時や内容等の交渉を行った。
- ・夏季休業中の8月24日、双葉電機株式会社西部オフィス（浅口郡里庄町）を訪問した。
- ・環境への負荷が少ないCLT（直交集成板）を用いて建築された社屋を見学しながら、SDGsに関する様々な取組を紹介していただいた。
- ・特に、CLTについては、製造元である「銘建工業株式会社」の担当者から建築工法や性能等の説明を受けた。
- ・後日、生徒は各自で内容を記録したメモをもとに、Chromebookを用いて発表を行うなどの振り返り学習を行った。



### 実践による効果等

- ・生徒は、企業訪問によって環境課題に対してより具体的なイメージをもつことができ、解決すべき課題の設定や、調査・研究を行っていく上で、大変有意義な体験であった。
- ・地域の企業等をよりよく知る機会を通して、循環型社会の発展に貢献できる人材の育成につながった。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）